

農業 商工業

Farming, Commerce & Industry

温暖な気候と豊かな土壌＋アクセス利便性 「地の利を活かしながら 町を支える産業」

Mild Climate and Fertile Soils + Easy Accessibility
Industries support the town while taking advantage of its geography.



阿久比米 「食べることはその土地を知ること」

阿久比町は古くから米作りが盛んで、知多半島の「米どころ」として知られてきました。阿久比米の中でも特別栽培米「れんげちゃん(レンゲ米)」は、春に花を咲かせたレンゲを土にすき込む農法で育てられています。農業を可能な限り少なくした、安全・安心なおいしいお米です。

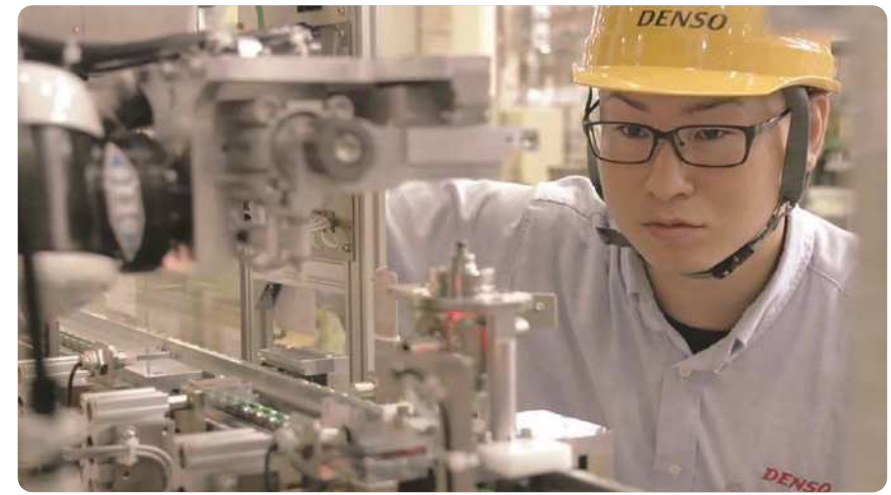


昔から、その土地の気候風土に合ったものを食べることは健康に良いと言われています。



先端技術とものづくり企業 「利便性を活かし ものづくりを中心に 産業で活気あふれる町へ」

町内の4つの工業団地(草木工業団地、草木東部工業団地、中部工業団地、南部工業団地)は、様々な分野のものづくりの拠点となっています。市場や関連企業への輸送面など、阿久比町が名古屋や西三河、中部国際空港(セントレア)など多方面へアクセスが良い利便性を活かし、自動車関連企業やQRコードを開発した情報開発企業をはじめ、全国で道路標識などの環境整備を行う企業、国内最大手の粘土瓦の企業、伝統製法を受け継ぐ老舗醸造業など、様々な産業が町の発展を支えています。



くらしを支える商業施設

大型商業施設、スーパー、薬局など、日常生活に必要なものはすぐそばで揃います。知多半島のほぼ真ん中という立地で、近隣からもたくさんの買い物客が訪れ賑わいをみせています。



Feature

「ノコギリ屋根の織布工場」 にみる阿久比の産業古今

知多半島では焼き物に適した良質な土が採れたことから、鎌倉から室町時代かけ、阿久比でも窯業が盛んに行われており、当時の焼き物が発掘されています。明治以降には、織布産業の水車紡績(ガラ紡)が始まり、さらに機械紡績へと切り替わり、発展していきました。知多半島に知多鉄道(現名鉄河和線)が敷かれると、織布産業はさらに発展。昭和初期には阿久比が県内有数の織物のまちとなりました。昭和50年頃には70以上の織布工場があり、「ガチャガチャ」と綿布を織る音が鳴り響いていました。その後、時代が進むにつれ工場数は減少しましたが、今も町内には織維関係の会社があり、ノコギリ屋根が産業の歴史を物語っています。

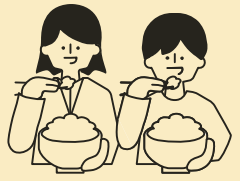


電照菊 夜になると明るく浮かび上がるハウス栽培

菊は、愛知県が全国一の生産地であり、県の花き生産額の主力品目です。愛知県では、昭和20年代中頃に渥美半島で電照菊栽培が導入され、県内各地で栽培がみられるようになりました。昭和50年代には阿久比町でも電照菊のハウス栽培が盛んに行われるようになりました。夜になると、電灯が一斉に点き、ハウスが明るく浮かび上がります。

「おいしさは土から作られる」
「子どもたちが食べたいと思える農作物を」
温暖な気候と豊かな土壌に育まれた、阿久比の農作物。豊富な栄養だけでなく、生産者の思いも込めてお届けします。
阿久比の土は粘土質で、栄養素を豊富に含んでいて、肥料もちに加えて水持ちも良い。阿久比の土で育ったお米と野菜って本当においしいです。

The source of deliciousness is in the soil.
Foods that children love to eat.
Agi's produce is nutrient-rich and grown with tender, loving care in a mild climate.
The soil in Agui is clayey, rich in nutrients and holds both fertiliser and water well. Rice and vegetables grown in Agui's soil are very tasty.



阿久比の農作物を地元の人に食べてもらえるよう、新鮮で安全・安心なものをお届けします。